
山荘ホテル殺人事件

闇の男爵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

山荘ホテル殺人事件

【Nコード】

N0187A

【作者名】

闇の男爵

【あらすじ】

おなじみメンバー5人が不死鳥山のホテルに旅行に行ったがそこで殺人事件が起きる

ブローグ

ホテルへの招待券をくじ引きで当てて　その電車に乗ったコナン達
「宮原駅行き列車」

小「宮原駅なんて　かなり遠いところだぞ　なんじかかかるかわ
からんなあ」

蘭「何いってんの　少しくらいガマンすればいいじゃない」

コ「そうそう」

???「その声は　オツちゃんやな」

小「その関西弁は・・・服部平次!!」

平「よくわかったな　わいやって」

小「普通わかるぞ」

蘭「あー　和葉ちゃん」

和「あー　らんちゃんもいつしよったんか」

蘭「うん」

コ「・・・」

話に入れてもらえず　列車の中ではいじけていたコナンであった

第2章 自己紹介 そして・・・

「不死鳥山 山荘ホテル」

小「やつと着いた」

コ「うん」

従業員「毛利 小五郎様 服部 平次様ですね 毛利様は204号室 服部様は205号室です」

小「そうですか」

「食堂」

従業員「それでは自己紹介を まだ何人が来ていませんが」

秋山 真です シナリオライターをやっています

魔「魔幻 透魔・・・」

と「ともゆきです 小説を書いています」

と2「とーやです 同じく小説を書いております」

コ「とーやともゆきって あのベストセラー作家の？ すげー」

舜「新田 舜です（新田 舜（18）医者）」

猛「くくく・・・つぶがそろってんなぁ 煙の小五郎もいるな

バカらしいというか なんといいかな」（蒙麻 猛（35）

無職）

風「風来 試練です よろしく」（風来 試練（二十）???）

麻「麻妃 美奈です よろしくおねがいします」（麻妃 美奈（

17）学生）

黒「黒生 黒鉄だ」（黒生 黒鉄（62）碁聖）

全員の自己紹介が終わり 食事食べて 全員各部屋に別れた

第3章 一人目・

〔蒙麻の部屋〕

蒙「毛利小五郎と服部平次か・・・奴らがいりゃあ安心だぜい
くらあいつでも・・・」

ピンポン

蒙「はい」

蒙「お前か　なんだよ　今日のことで文句でもあるというのか？
あん？」

パシユッ

蒙「ぐ・・・おお・・・まさか・・・なぜお前・・・が」
パシユッ　パシユッ　パシユッ　パシユッ　パシユッ

〔朝〕

ドンツドンツドンツ

風「おい　あける　蒙麻っ　おいっ」

小「どうしました？　まだ　朝の五時つすよ」

風「昨日の夜　蒙麻から電話があつてな　明日の朝　五時に俺の部
屋に来い　なんていわれて　来てみて呼んでるんだが　応答がない
んだ」

小「五時ですから　ねてるのでしょう　ですが　じぶんからよんで
おいてこれとは・・・ん？　かぎがかかってませんから　入りまし
ょう」

風「不法侵入って奴か？」

小「不用心なのがいけないのでしょ」

ガチャ・・・

風「おい　蒙麻　ねてんだろ　おい・・・！？」

小「どうしました？」

風「蒙麻が・・・」

小「なっ・・・」

そこには 蒙麻の死体が置かれていた だが これは ほんの序章
にすぎない・・・

第4章 暗号

風「こりゃあひでえ……」

小「頭に6発か……」

風「おい パソコンの画面に字が」

くちみみにみみくちはななすちにとにりいみみ

小「暗号か……」

風「そうらしいな だが なんだこれは」

新「即死ですね まさか死人相手にここまでできるとは 惨いですよ」

というわけで 調査する組と部屋で待つ組に分かれた 新田 舜

毛利 小五郎 服部 平次 風来 試練が調査する組となった

平「この暗号 なんやろうなあ」

小「ああ 漢字に変換しても何もならないんだよ」

平 小「うーん」

ふえつくしゅん!!

コ「ふえー風邪引くとはなあ」

魔「風邪薬だ 飲むが良い」

コ「はい」

平「和葉 このガキは俺が見てるから ばいてんでみやげでもさがしたらどうや 土産 どっさりたのまれとるんやし」

和「じゃあ行ってくるわ 蘭ちゃんも行こ」

蘭「うん じゃあ コナンくんお願いね」

平「おう」

コ「ふえつくしゅん!! お前 二人とも方向音痴だと知ってて行かせたな」

平「病人が文句言つなアホ さっきの暗号や 解けるか?」

コ「くちみみにみみくちはななすちにとにりいみみ……? わかんねえなあ」

平「なんや くすりもらつとつたんかい」

コ「飲んだよ」

平「なんかわかったらまた来るさかい ゆっくりしとてや」

コ「ああ じゃあな うーん 何なんだ？ この暗号・・・」

一方調査組

小「秋山さん 何やってるんです」

秋「知らないんですか？ 今超人気の「金 一少年の事件簿」ですよ」

小「そうじゃなくて 読まないで一緒に考えて下さいよ」

秋「ちよつとトイレへ」

トイレ

秋「あれ？ まさかこの暗号は・・・」

パシユツ

秋「オイオイ・・・マジかよ・・・」

パシユツ

一方コナンの様子は

コ「ハア・・・ハア・・・気分わりー なんだよ・・・これはよ・・・

ハア・・・ハア・・・」

素早く調査組へ

小「秋山さん どうしまし・・・あつ・・・ダメだ・・・なくなっている・・・」

風「こりゃあ 漫画？ まさか・・・確かこの漫画には似たような暗号があるらしいぞ 覚えてはいないが」

新「即死のようです・・・毛利さん 弾がない銃が捨ててあります」

小「くそう・・・犯人は一体誰なんだ・・・」

コ「ハア・・・ハア・・・ハア・・・ハア・・・ハア・・・ハア・・・

・どうしたんだよ・・・俺の体・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0187a/>

山荘ホテル殺人事件

2010年10月11日03時20分発行